

中間のまとめ問題①～⑦

I・以下の問いに答えなさい。

第1問：眼の遠近調節に関与するのはどれか。

1. 瞳孔括約筋
2. 毛様体筋
3. 上直筋
4. 眼輪筋

第2問：暗い場所に移動したときに起こる眼の反応はどれか。

1. 瞳孔が縮小する
2. 水晶体が薄くなる
3. 瞳孔が散大する
4. 毛様体筋が弛緩して焦点を近方に合わせる

第3問：網膜にある視細胞のうち、色の識別に主に関係するのはどれか。

1. 杆体
2. 錐体
3. 神経節細胞
4. 双極細胞

第4問：視覚情報を最終的に認識する部位はどれか。

1. 延髄
2. 小脳
3. 大脳皮質後頭葉
4. 大脳皮質側頭葉

第5問：音の振動を最初に受け取って振動する構造はどれか。

1. 蝸牛
2. 鼓膜
3. 前庭
4. 半規管

第6問：聴覚に関係する内耳の構造はどれか。

1. 蝸牛
2. 前庭
3. 半規管
4. 耳介

第 7 問：頭部の回転運動を感知するのはどれか。

1. 蝸牛
2. 球形囊
3. 卵形囊
4. 半規管

第 8 問：患者が「話している内容は理解できるが、言葉がうまく出てこない」と訴えている。障害が疑われる部位はどれか。

1. 左前頭葉のブローカ中枢
2. 左側頭葉のウェルニッケ中枢
3. 後頭葉の視覚野
4. 小脳

第 9 問：ウェルニッケ中枢の主な機能はどれか。

1. 発声器官を直接収縮させる
2. 言葉の意味を理解する
3. 眼球を動かす
4. 嚥下反射を開始する

第 10 問：構音障害について正しいのはどれか。

1. 言語の意味理解そのものの障害である
2. 発音に関係する筋肉や神経の障害によって生じる
3. 必ずウェルニッケ中枢の障害によって生じる
4. 視覚障害が主な原因である

第 11 問：味覚を受容する器官はどれか。

1. 味蕾
2. 嗅球
3. 蝸牛
4. 半規管

第 12 問：舌の後ろ 1/3 からの味覚情報を主に伝える神経はどれか。

1. 視神経
2. 顔面神経
3. 舌咽神経
4. 舌下神経

第 13 問：嗅覚について正しいのはどれか。

1. 嗅覚受容器は鼻腔下部に存在する
2. 嗅細胞はにおい分子を受容する
3. 嗅覚は順応しにくい
4. 嗅覚情報は必ず視床を経由してから認識される

第 14 問：患者の病室に入った直後は強く感じたにおいを、しばらくすると感じなくなった。この現象はどれか。

1. 反射
2. 順応
3. 錯覚
4. 運動失調

第 15 問：感覚について正しいのはどれか。

1. 刺激を感じるのは受容器だけである
2. 受容器は刺激を神経情報に変換する
3. 感覚中枢はすべて脊髄にある
4. 大脳皮質は感覚の認識には関係しない

第 16 問：サーカディアンリズムの周期として正しいのはどれか。

1. 約 4 時間
2. 約 12 時間
3. 約 24 時間
4. 約 48 時間

第 17 問：レム睡眠の特徴はどれか。

1. 急速眼球運動がみられる
2. 脳活動が著しく低下する
3. 骨格筋の緊張が高まる
4. 深い睡眠のみで構成される

第 18 問：ノンレム睡眠について正しいのはどれか。

1. 脳の活動が低下する
2. 急速眼球運動が著明である
3. 骨格筋が完全に脱力する
4. 副交感神経活動が低下する

第 19 問：睡眠の主観的評価に含まれるのはどれか。

1. 血液型
2. 入眠潜時
3. 身長
4. 視力

第 20 問：サーカディアンリズムを整える援助として適切なのはどれか。

1. 毎朝同じ時刻に起床する
2. 日中はできるだけ暗い環境にする
3. 就寝直前にカフェインを摂取する
4. 昼寝を毎日 3 時間以上とる

第 21 問：皮膚の構造について正しいのはどれか。

1. 表皮・真皮・皮下組織からなる
2. 表皮には太い血管が豊富に存在する
3. 真皮には汗腺がない
4. 皮下組織は皮膚の最表層である

第 22 問：体温調節に重要な働きをするのはどれか。

1. 皮脂
2. 汗
3. メラニン
4. ケラチン

第 23 問：皮膚の機能として正しいのはどれか。

1. 体温調節
2. 胆汁分泌
3. インスリン分泌
4. 赤血球産生

第 24 問：皮膚の感覚機能に関係するのはどれか。

1. 痛み
2. 胆汁
3. 血糖
4. 尿量

正答：1

第 25 問：アポクリン汗腺が多く分布する部位はどれか。

1. 腋窩
2. 手掌
3. 足底
4. 前腕全体

第 26 問：体温調節中枢が存在するのはどれか。

1. 小脳
2. 視床下部
3. 延髄
4. 後頭葉

第 27 問：暑熱環境で体温を下げる反応はどれか。

1. 皮膚血管収縮
2. 発汗
3. ふるえ
4. 骨格筋活動の増加

第 28 問：寒冷環境で熱放散を抑える反応はどれか。

1. 皮膚血管の拡張
2. 発汗
3. 皮膚血管の収縮
4. 皮膚血流量の増加

第 29 問：寒冷時に骨格筋が細かく収縮して熱産生を増加させる反応はどれか。

1. 発汗
2. シバリング
3. 血管拡張
4. 熱放散

第 30 問：感染症による発熱の機序として正しいのはどれか。

1. 体温調節中枢の設定温度が低下する
2. 体温調節中枢の設定温度が上昇する
3. 発汗だけによって体温が上昇する
4. 皮膚血流の増加だけで発熱が起こる

Ⅱ・以下の文章が正しければ○、間違っていれば×印で答えなさい。

第 1 問；角膜には血管が豊富に分布しており、血液から酸素を受け取っている。

()

第 2 問：近くを見るときには、水晶体が厚くなって屈折力が増加する。()

第 3 問：杆体は色の識別に主に関係し、錐体は明暗の識別に主に関係する。()

第 4 問：半規管は頭部の回転運動を感知する。()

第 5 問：ウェルニッケ中枢は、言葉を発するための運動指令を主に担当する。

()

第 6 問：構音障害は、舌や口唇など発音に関係する器官や神経の障害によって生じる。

()

第 7 問：嗅覚は、視覚や痛覚と比較して順応しにくい感覚である。()

第 8 問：感覚刺激を最初に感知するのは感覚受容器であり、最終的な認識には大脳皮質などの感覚中枢が関係する。()

第 9 問：サーカディアンリズムは約 12 時間周期の生体リズムである。()

第 10 問：レム睡眠では急速眼球運動がみられる。()

第 11 問：ノンレム睡眠では、副交感神経が優位になりやすい。()

第 12 問：睡眠の主観的評価では、睡眠時間だけを確認すれば十分である。()

第 13 問：皮膚は表皮、真皮、皮下組織の 3 層に大きく分けられる。()

第 14 問：皮脂腺は汗を分泌して体温調節を行う。()

第 15 問：皮膚には痛み、温度、触覚などを感じる受容器が存在する。()

第 16 問：暑いときには皮膚血管が収縮して熱放散を促進する。()

第 17 問：体温調節中枢は視床下部に存在する。()

第 18 問：寒冷時には皮膚血管が拡張し、体表からの熱放散が増加する。()

第 19 問：シバリングは骨格筋の細かな収縮によって熱産生を増加させる反応である。

()

第 20 問：感染症による発熱では、体温調節中枢の設定温度が低下する。()